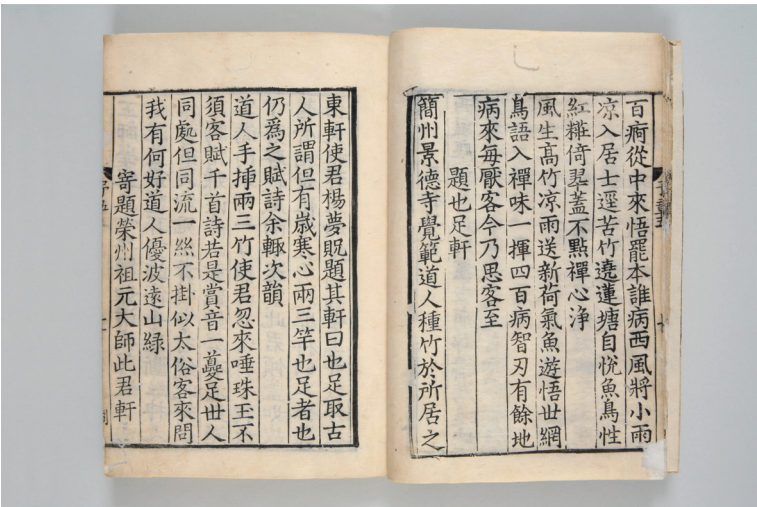




全相平話



東坡集



豫章先生文集

全相平話

十世紀から十三世紀にかけての宋の時代、繁華街で流行した講史といわれる歴史の解釈、いわゆる講談は次ぎに続く元の時代でも人気を博しました。

その人気に支えられて刊行されたのが『全相平話』です。全相とはすべてのページに挿し絵があること、平話とは批評を加えた物語のことです。

元の至治年間（一三二一―一三二三）に刊行された本書は、中国講史類として現存する最古のものといわれ、国立公文書館だけの所蔵で、重要文化財に指定されています。

紅葉山文庫旧蔵（請求番号 重二二二）

東坡集

北宋の蘇軾（一〇三六―一一〇一）の詩文集です。禅を信奉した蘇軾は、号を東坡居士としたので、一般的には蘇東坡の名で親しまれています。

本書は『東坡集』として現存する最古の版本で、南宋（一一二七―一二七九）の時代に刊行されたもので

す。京都の西禅寺・妙心寺大龍院の僧懶庵の所蔵からのちに近江国仁正寺藩主市橋長昭（一七七三―一八一四）に渡り、文化五年（一八〇八）に市橋長昭から湯島聖堂に献上された、重要文化財です。

昌平坂学問所旧蔵（請求番号 重二二三）

豫章先生文集

北宋の詩人、黄庭堅の詩文集です。号が山谷であることから、黄山谷の名で親しまれています。

本書は、南宋の孝宗と光宗の二代、西暦一一六二年から一一九三年の間に刊行された最初の刊本とされています。風格のある大字本で、国立公文書館以外に伝本は確認できません。

前出の『東坡集』と同じく京都の西禅寺旧蔵で、文化五年（一八〇八）に市橋長昭から湯島聖堂に献上された、重要文化財です。

昌平坂学問所旧蔵（請求番号 重二二二）



魚仙水族写真



魚 類 譜